

コロナになんか負けないぞ！



ミモザ茅ヶ崎には感染症委員会があります。今まではインフルエンザやノロウイルスについての研修を行っていました。今回はコロナウイルスの感染予防についての研修がありました。入居様が罹らないようにするのは勿論、職員が罹らない、持ち込まないについて学びました。写真はもしコロナになった時に使うガウンについての着脱を学んでいるところです。もしガウンがない時は使い捨てのエプロンを使用し、汚れた部分を内にして丸めて捨てるとか、手袋の外し方、汚物や、使い捨て食器の捨て方までしっかり研修しました。覚えつつもりでもなかなか手順は難しく時間もかかるので、感染症には細心の注意を払わなければならないと改めて確認した研修でした。



お母さん、元気？

ガラス越しの面会をお願いしています。こんな感じです。少しの時間でもお互いに顔を合わせると安心されるようです。入居者の皆様は面会を楽しみにされているので是非会いに来てください。宜しくお願い致します。事前にご連絡いただけると準備してお待ちできます。



3密を避けるように、紙芝居を行ったときも一人一人の車いすを離して座っていただきました。昭和の時代の卓袱台や火鉢の出る話もあって、入居者様には懐かしい思い出を話すキッカケとなり、皆様楽しまれておられました。

介護の豆知識

⑭

DCAT

DCAT(Disaster Care Assisutance Team)とは、災害派遣福祉チームの事で、災害派遣医療チームDMAT(Disaster Medical Assisutance Team)の福祉版と言われています。大災害や大事故が起こった時、避難所などで生活する高齢者や障害者など要支援者の避難生活をケアし、予想される生活困難から要支援者の命を守ることを目的として作られました。1チーム約5～7名ほどで構成されており、チームメンバーは、ソーシャルワーカー、介護福祉士、看護師、ケアマネージャーなどです。主な活動は、避難所を巡回して要支援者の話を聞き、福祉避難所や介護保険事務所などで専門知識を活かしてケアを行う、生活環境に配慮した対応や支援の実施、福祉ニーズの把握と情報発信などです。東日本大震災後にDCATのもととなる仕組みができ、以後熊本地震などでも活動が注目されています。
